



土砂で覆われたライフライン確保作業（宇都宮市 古賀志町地内）



現場に土を搬入するために仮設道路を設置（壬生町 姿川 淀橋下）

地域から今、必要とされる時



松本建設 松本俊哉氏

の苦労や努力をして作っています。そんな縁の下の力持ち的などころにやりがいを感じています。これからも良いものを作り、人々から感謝される、そんな仕事をしていきたいです。

■松本 日光支部の松本建設で土木工事の現場代理人補佐

を担当している松本俊哉です。ものづくりの仕組みや楽しさにやりがいを感じます。若いうちにたくさんの経験を積み、これからの建設業界を盛り上げていけたらと思っています。

■古屋 同じく日光支部、東武道路工業の古屋新二です。現在は鹿沼市粟野地内で舗装修繕工事を担当しています。監督を務めていて感じたことは、作ったものが完成した時には達成感が得られます。そこにやりがいを感じます。

■成田 下都賀支部の佐藤工業で監督業務全般を担当する成田楓です。関東・東北豪雨の時、私はこの業界1年生で、右も左も分からない状態でしたが、災害復旧の現場を担当させていただき、達成感とやりがいを感じました。

安心して暮らせるまちに

一災害時の迅速な応急・復旧活動を行う地方の建設業界は今、「地域の守り手」として期待が高まっています。そのことをどう受け止めていますか。また若い世代を建設業にとって魅力ある建設業界とするにはどうすればよいですか。

■田嶋 「地域の守り手」と呼ばれることは光栄です。期待に応えられるよう日々努力をしていこうと心掛けています。若い世代を引きつけるには子どものころから親しみを持ってやるような活動を行うことが重要ではないでしょうか。

■荒川 地域の方々の暮らし



機械建設 荒川勇太郎氏

を支える仕事として、とても責任を感じます。責任感を持って仕事をした結果、「地域の守り手」として貢献できればうれしく思います。建設業の仕事がインターネットの動画配信サービスでも簡単に見ることができます。そうしたものを利用してはどうでしょうか。

■磯田 自分たちが地域の役に立てることはとてもありがたい事だと思います。同時に建設業の仕事の内容や重要性をもっと多くの人に知ってもらいたいです。特に子どもたちには小さい頃から仕事のやりがいと楽しさを知ってもらい、将来の若手技術者として増えていければ良いと感じます。そのためにも私たちが改善すべきところは改善していかなくてはならないと思います。

■松本 「地域の守り手」として期待されていることは、光栄なことです。私は消防団としても活動しています。これからも両面で「地域の守り手」として日々活動していきたいと思っています。SNSなどを使って建設業の素晴らしさを伝えていくのが良いのではないのでしょうか。

■古屋 企業として努力することが将来、重要視されると思います。そうなれば若手技術者も増えると思います。給与と休暇など、待遇面での改善も必要ではないのでしょうか。

■成田 私は初めに姿川にかかる淀橋の堤防が流されてしまった現場に行きとても衝撃を受けました。それは収穫間際の稲穂が砂利や砂に埋もれ、一生懸命育てたものが一瞬でなくなってしまったことです。地元の人がとてもショックを受けていました。こうした災害が発生した時は迅速に対応し、丁寧で確実な作業を行わなければなりません。地域の皆さんがより住みやすく安心して暮らせるようにすることが私たち建設業の立ち位置だと思います。

一皆さんのお話を聞いて地元の方々も安心して地域で暮



東武道路工業 古屋新二氏



佐藤工業 成田楓氏

